

# 日本医科大学と教育・研究交流協定を締結 本学の工・理学、法学が、医学と連携協力へ

中央大学（東京都八王子市、永井和之学長）は3月16日、日本医科大学（東京都文京区、田尻孝学長）と

教育・研究の両面にわたって連携・協力を図るための包括協定を締結した。この協定により今後、両大学間の相互交流がより促進されることになり、医学・工学・理学のみならず、医学・法学の連携も推進され、両大学双方の教育・研究のさらなる発展が期待される。

この日、中央大学後楽園キャンパスで行われた包括協定（基本協定）の調印式には、中央大学から永井学長はじめ大久保信行常任理事、石井洋一理工学部長ら、

日本医科大学からは田尻学長と、同大の兄弟校である日本獣医生命科学大学の池本卯典学長らが出席。永井学長と田尻学長が、それぞれ教育・研究交流協定書に署名したうえで、協定書を取り交わした。

本学は、1978年の多摩移転後、多摩キャンパスの夜間医療体制や学生などの健康診断で、日本医科大学附属多摩永山病院からの医師派遣などの協力を得てきている。また、理工学部の後楽園キャンパスでは、同じく文京区内にある日本医科大学とこれまで相互に

二度にわたり、「医学と工学の連携を求めて」という

テーマで学術合同ワークショップを開き、研究協力を

を進めてきた。

今回の協定は、さらに両大学が教育と研究の双方にわたって連携し、理学・工学や医学に関する学術交流を促進して、新たな展開をはかることを目的に締結さ

れた。

今後は、すぐにも図書館の相互利用ができるようになる。また、大学院間の単位互換による学生交流や、研究者交流、中・高校生を対象にしたサイエンスセミナーの共催、さらには日本獣医生命科学大学との交流も検討される。

とくに本学の理工学部と法科大学院（市ヶ谷キャンパス）は、日本医科大学とは距離的に近いため、より連携が推進されることになる。

協定締結後に記者会見した永井学長は、125年前の本学創立式典に来賓として出席した福沢諭吉翁が、「法学と医学は非常によい1日学んだだけで為になる」と述べたことを紹介し、「生命系の分野が総合大学として必要と考え、ウイン



協定に調印後、握手する永井学長（左）と田尻学長（右）



鉄筋コンクリート5階建ての東豊田寮

「東豊田寮」は、建築面積601・95平方メートル、延床面積2045・89平方メートルで、鉄筋コン

クリート造りの5階建て。2人一部屋の寮室という住居施設に、すぐ近くにはロード練習にもってこいの浅川の土手があり、「文武両道」に恵まれた抜群の環境に、陸上競技部のさらなる活躍が期待されている。竣工式には、久野修慈理事長、永井和之総長・学長はじめ、大学と建設会社の関係者約50人が出席。神主による修祓にはじまって、祝詞奏上などの神事では、久野理事長、永井総長・学長、高木丈太郎学員体育会

会長らが玉串を奉奠、最後に出席者全員で神酒を拝載して工事の完成を祝った。この後に開かれた直会の冒頭、挨拶に立った久野理事長は、「きょうは晴天で、天気が祝福してくれている。新たな気持ちでスタートを切ることができた」と述べ、今後の陸上競技部の活躍を祈念した。また、永井総長・学長は、

「すばらしい建物ができた。伝統ある中大陸上部のメツカとして、地元の方々に愛され、世界に飛躍する陸上部であって欲しい」と選手らを激励した。出席者は、和やかに歓談したあと、真新しい寮内を見て回り、あらためて充実した施設と環境の良さに触れていた。5階建ての「東豊田寮」の1階は、80人が入れる食堂・ミーティングルームと、各種マシンを備えたトレーニングルーム、マネージャールーム、浴室などがある。2〜5階の寮室には、長距離部員が2、3階に、短距離部員が3階の一部と4階に入居。このほか2階には監督室、コーチ室があ

## 陸上競技部の「東豊田寮」が完成、竣工式行う 「文武両道」の抜群の環境に、期待される躍進

陸上競技部の学生が入居する「東豊田寮」（中央大

学学友会体育連盟東豊田寮、日野市東豊田1-7-11）

クリート造りの5階建て。2人一部屋の寮室という住居施設に、すぐ近くにはロード練習にもってこいの浅川

グを広げた」と述べ、日本医科大学との交流に期待を示した。また、日本医科大学の田

尻学長は、本学理工学部へ昨春、生命科学科ができたのが今回の協定締結のきっかけになったといたうえで、

「社会のためになる大きな成果が得られることを確信している」と強調した。（編集室）



お神酒を拝載して竣工を祝う

「すばらしい建物ができた。伝統ある中大陸上部のメツカとして、地元の方々に愛され、世界に飛躍する陸上部であって欲しい」と選手らを激励した。出席者は、和やかに歓談したあと、真新しい寮内を見て回り、あらためて充実した施設と環境の良さに触れていた。



テープカットする久野理事長(中央)と永井総長・学長(右)、  
 高木・学員体育会会長(左)

り、中大を目指す高校生ら  
 見学者などが宿泊できる畳  
 敷きのゲストルームもある。  
 4階には学習室があり、勉  
 強する環境も完備されてい  
 る。

入居した。陸上競技部駅伝  
 の浦田春生監督は、「環境  
 はベストです。あとは学生  
 にしっかりと勉強とトレー  
 ニングに励んでももらいます。  
 近隣の方々の期待にも応え  
 られるようにしていきたい」と話し、今後の躍進を  
 期していた。(編集室)



陸上競技部の小栗監督(左から2番目)と浦田・駅伝監督(左端)と部員



二人一部屋の室内

「文武両道」の充実した施設



学習室



10人は泊まれるという畳敷きのゲストルーム



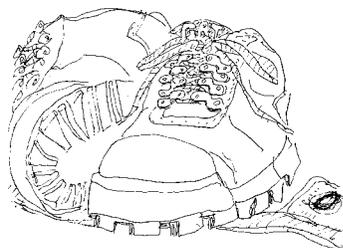
ランドリー



トレーニングルーム



浴室



# 学生記者になりませんか



「Hakumonちゅうおう」は中大生が取材・編集する大学広報誌です。

現在、多摩と後楽園キャンパスそれぞれで1、2年生の学生記者を募集しています。

- 元新聞社論説委員のプロや先輩の学生記者に取材方法・原稿の書き方はじめ添削指導を基礎から受けることができます。将来どんなキャリアをめざすにも文章力が重要です!
- 取材を通して、さまざまな人に出会うことができます。出会うの数ほど思い出ができることでしょう。
- 記者活動を通してコミュニケーション能力など「社会人基礎力」を身につけることができます。



**申し込み・問い合わせは** \_\_\_\_\_

中央大学広報室『Hakumonちゅうおう』  
 編集担当：伊藤博まで  
 Phone：042-674-2048（直通）  
 E-mail：hiroito@tamajs.chuo-u.ac.jp